ドイツ連邦食料・農業省　最新農林漁業情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 10
2018・7・28

## １ 連邦クレックナーがアルゼンチンのＧー２０農業大臣会議に出席

(2018･7･19)

クレックナーは、2018 年 7 月 27 日~28 日（金～土曜）に、アルゼンテインのブエノスアイレスでの G-20 農業大臣会議に出席した。20 の大規模工業国ー新興工業国の農業大臣の 2 日間にわたる会議は、将来的そして持続的な食料生産のために重要である。連邦大臣クレックナーは、各国の同僚大臣との２国間の対話を試みた。彼女は、その後国際見本市を訪れた。

２０ケ国について

G-20 は２０の先進工業国ー新興工業国の国際共同活動のための、中心的なフォーラムである（特に財政ー経済問題)。これら G-20 の国々は、世界人口の 2/3 強を有し、世界規模での総国内生産の 4/5 以上、農業面積 2/3、そして取引可能な農産物の 80%を産している。G-20 の決定は高いシグナル効果を有し、そして多国間と国際レベルでの改革のための刺激を与える。

G-20 は 19 ヶ国と EU で構成されている。また、G-20 は G-7 のような非公式フォーラムである。ここではそれぞれの国の大統領（首相）が、重要な役割を演ずる。組織、議事日程並びにサミット客の決定が G-20 首脳に委ねられている。各国の首相―大統領の G-20 サミットは、2018 年 11 月 30 日~12 月 1 日にブエノスアイレスで開催される。一連の専門大臣の会議は、先行して開かれる。その際、農業大臣会議幕開けとなる。

## ２連邦農業大臣：農村女性無しに農村の形成は無い(2018・7・4)

ー７０周年農村女性の日に際してー

連邦農業大臣クレックナーは、ルートビスハーフェン（Ludwigshafen）における農村女性の日に際して述べた。大臣は農村女性のボランテイア活動への参画 70 周年を祝うとともに、活動を高く評価した。

農村女性は、今年存続 70 周年を祝った。これまで 50 万人の農村女性が教育のために参加し、自らを高めてきた。
大臣は”農村女性無しに農村は形成されない。農村女性は自らのボランテイアによって、農村地域における故郷づくりに貢献している。この参画は、我々の社会の連携でもある。私はこれをもっと強めたいと”大臣が強調した。

このことは、地域の不利な点と思い込んでいたことを、長所に変えることができる。農村女性は、村々おける村づくりの可能性を、自らの行動を活発化するためにも、自由行動の余地としても活用できる。農村女性は伝統を守るだけでなく、近代的な動きの先端に対しても向き合っている。つまり、農村の日常におけるデジタル化への組み入れについても活躍している。

彼女はさらに述べた：
”今私の省では独自の調査表を作成している。つまり、農村女性と農村青年がボ、ランテイアでもって特別なテーマと、取り組んでいる状況の調査である。”なぜならば、今後より強いボランテイア活動でもってのみ、将来性のある農村地域を形成できるからである。我々はさらなる支援策として、専任の構造をもったボランテイアを強化したい。なぜならば、まさに保険、データ保護、責任のからむ法的な問題に対応する必要が、あるからである。

さらに私は、農村女性の重要な関心事を取り上げたい。我々は、農村における女性、研究を奨励する。我々は農業経営における女性の生活一収入状況を、良く把握した。大臣は、栄養教育にける農村女性のボランテイア活動を高く評価し、お礼を述べた。農村女性は、基本的に小学生のための「栄養免許証」の普及に大きく貢献した。約 100 万人強の子供たちに喜びをもたらし、そしてバランスある美味しい食事を教育してくれた。

２０１８・７・２８　訳
青森中央学院大学
中川一徹